

【農地に関するアンケート調査結果】（耕作者）

1 調査概要

(1) 調査の対象

町内で耕作されている世帯 298 件

(2) 調査の方法

郵送による配布・回収

(3) 調査期間

令和 5 年 10 月 2 日（月）～令和 5 年 10 月 27 日（金）

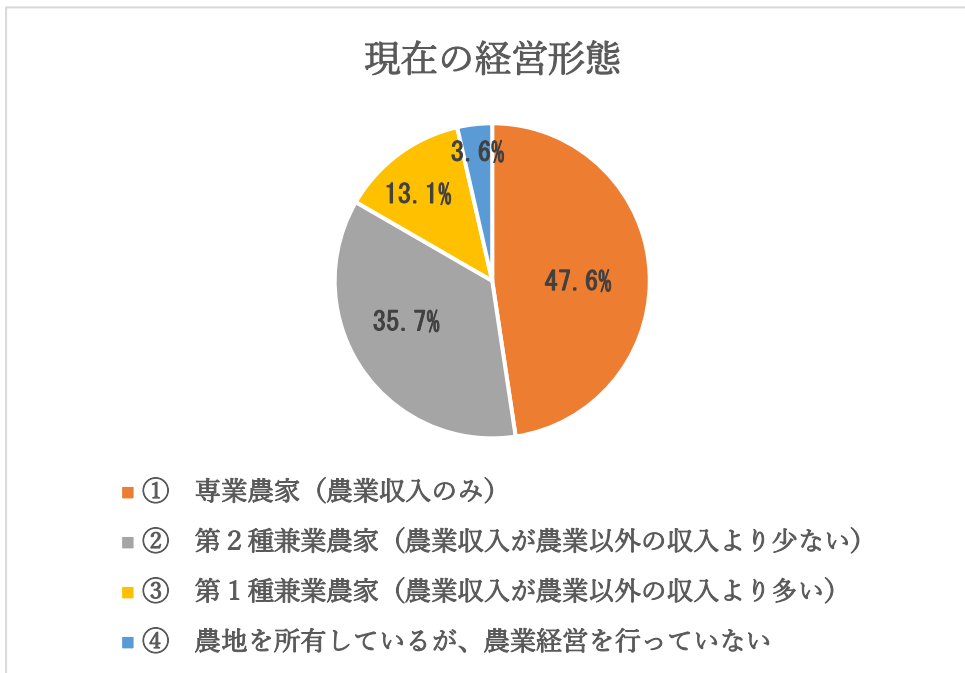
(4) 回収状況

回収 168 件 回収率 56.4%

2 調査の結果

問 1 現在の農業経営形態について <1つに○>

項目	回答数	割合
① 専業農家（農業収入のみ）	80	47.6%
② 第2種兼業農家（農業収入が農業以外の収入より少ない）	60	35.7%
③ 第1種兼業農家（農業収入が農業以外の収入より多い）	22	13.1%
④ 農地を所有しているが、農業経営を行っていない	6	3.6%
合計	168	—



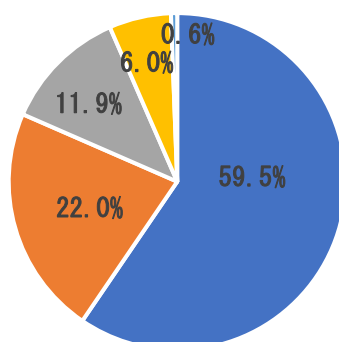
現在の経営形態は、専業農家が 47.6%と最も高く、第1種兼業農家の 13.1%を含めると約 6 割の世帯で農業所得が主となっています。

問2 10年後の農業経営について <1つに○>

項目	回答数	割合
① 現状を維持したい	100	59.5%
② 農業をやめたい	37	22.0%
③ 規模拡大したい	20	11.9%
④ 規模縮小したい	10	6.0%
⑤ 未回答	1	0.6%
合計	168	—

10年後の農業経営については、「現状を維持したい」が59.5%を占める一方、「農業をやめたい」が22.0%、「規模縮小したい」が6.0%で、合わせて28%の世帯が、農業経営を縮小する方向で回答しています。

10年後の農業経営



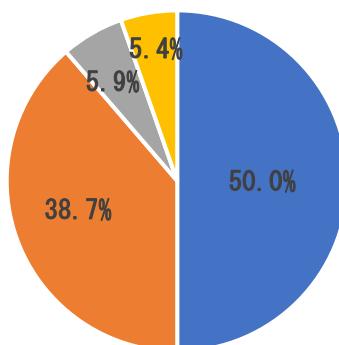
- ① 現状を維持したい ■ ② 農業をやめたい ■ ③ 規模拡大したい
- ④ 規模縮小したい ■ ⑤ 未回答

問3 後継者はいますか <1つに○>

項目	回答数	割合
① いない	84	50.0%
② 家族・親戚が引き継いでくれる	65	38.7%
③ 第三者に引き継ぐ予定	10	5.9%
④ 未回答	9	5.4%
合計	168	—

後継者については、「いない」が50.0%と最も高く、後継者不足が問題となっています。

後継者はいますか



- ① いない ■ ② 家族・親戚が引き継いでくれる
- ③ 第三者に引き継ぐ予定 ■ ④ 未回答

問4 今後の農地利用の調整において、農地バンクによる仲介を受けてもよいか選択してください。 <1つに〇>

項目	回答数	割合
① 可	110	65.5%
② 不可	44	26.2%
③ 未回答	14	8.3%
合計	168	—

農地バンクによる仲介について「可」が65.5%と最も多く、「不可」が26.2%と回答しています。

